

研究課題番号	4-1703
研究課題名	遺伝子制圧技術による外来魚の根絶のための実証魚の開発
研究実施期間	平成 29 年度～令和元年度
累計予算額	119,539 千円
研究機関名	国立研究開発法人水産研究・教育機構
研究代表者名	岡本 裕之

1. 評価者の指摘及び提言概要

不妊の遺伝子編集魚を作出してブルーギルなどの外来魚を駆除する研究事業の研究であり、技術的には一歩前進し、実際の適用までの検討ができた点は評価に値する。ただし、健康な不妊遺伝子搭載魚の安定的な作出と、借り腹を用いたその増殖技術が確立していないので、当初目的の達成には至っていない。いくつかの学術的貢献が認められるが、査読付き論文としての発表がない。また、技術を実際に応用するには対費用効果が未だ低く、また現場との合意形成などに課題が存在しているため、政策への波及効果が十分な段階には達しておらず、さらなる研究が必要である。成果報告書には、今後の可能性への足掛かりとして、期間内に十分な結果を得られなかった理由の記述が欲しかった。

2. 評点

総合評点：B